

令和2年4月20日

川崎市長
福田紀彦 様

公益社団法人 川崎市看護協会
会長 広瀬壽美子

川崎市新型コロナウイルス感染症対策における要望書

川崎市内における新型コロナウイルス感染症拡大防止に対しましては、日々ご尽力くださっておりますことに感謝申し上げます。

市内感染者の増加に伴い病院施設等医療の最前線の現場では、日々少なくなる感染防御資源を工夫しながら命を守る看護業務に日夜取り組んでいるところです。いまだ収束の状況が見えないところですが、感染の拡大を阻止し安全を確保した中で、これからも医療の現場に立ち向かっていくことができますよう次の要望をいたします。

記

1 感染防具資材の早急な確保・供給について

新型コロナウイルス感染症患者を受け入れる病院施設につきましては、病棟を調整し病床数の確保、また、そのための看護職員を確保するなどの体制を準備し対応しています。消毒用アルコールやN95マスク、ガウン、フェイスシールド、キャップ、手袋等、枯渇する防御具を工夫する中で感染リスクを抱えながら危険と隣り合わせの状況で看護にあたっております。全国的にもそれらの資材は不足状況にありますが、感染リスクを少なくし安心して安全に看護にあたるよう早急な資材の確保と供給をお願いいたします。

2 PCR検査対象要件の拡充について

現在、市内には84か所の（H31.4調べ）訪問看護ステーションが主治医の指示のもと地域で療養する医療的ケアを必要とする人、介護保険制度における療養上の看護を必要とする方に訪問看護活動を行っています。これら地域で活動する看護職には、新型コロナウイルスの感染防御を行いながら、利用者への安全な看護・介護を継続的に提供することが求められています。訪問時に突然利用者が発熱していた、また、職員の家族が発熱した等の場合、現在の検査体制の要件では検査を受けることができず、不安なまま職員を自宅待機させるという状況が起きており、運営にも支障をきたしています。職員の不安な思いを払拭させ、利用者やご家族に安心・安全な看護を滞りなく届けるために、また、感染拡大の防止のためにも速やかな検査・結果が必要です。一日も早く、医療従事者に対する検査要件の拡充をお願いいたします。